## 概略タイムライン

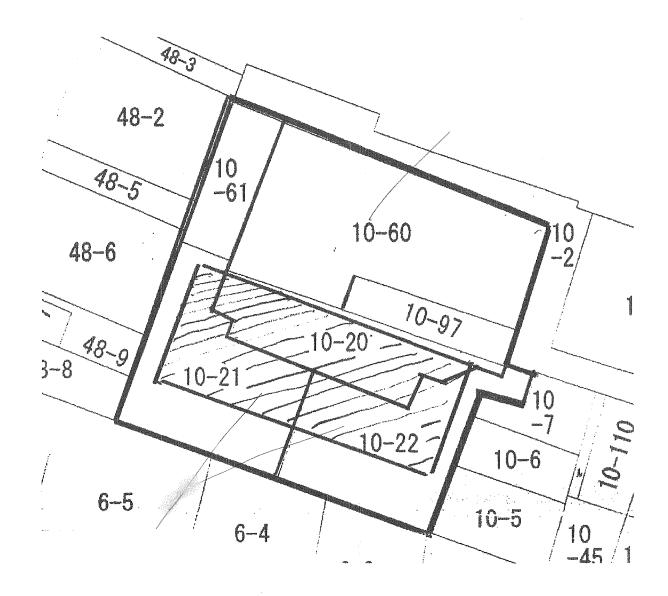
1970 (00)	竣工入居 3ヶ月後に地主の資産管理会社から管理組合による自主管理へ			
	住み込み夫婦管理人、初代~三代目理事長が心労で倒れる			
1972 (02)	初代管理人事件(その1) <b>避難通路を借地に無償追加</b>			
1974 (04)	ベランダ・外階段塗装 65 万 排風機+揚水ポンプ修理 19 万			
1975 (05)	三代目管理人事件(その2) 2階台所ボヤ 消防計画及び管理人職務規程作成			
	排風機+揚水ポンプ修理 50万 一部雑排水管が詰まり逆流			
1976 (06)	地主邸取壊 → 西武信金仮店舗			
	各戸レンジフード防火ダンパ調整・清掃(1)揚水ポンプ・排風機修理 EV修理			
	TVアンテナ修理、屋上塗装、雑排水管洗浄(以上白石、50万)			
1977 (07)	地主資産管理会社が建蔽率対象地にアパート 2 棟建設			
	地主邸 → 下階雨漏り補修(白石)各戸ベランダ塗装補修(管理人)			
	ガス本管にチェック弁追加			
1978 (08)	水質検査不合格 雑排水管洗浄中に一部破裂 電話引込線切替 EV修理 70万			
1979 (09)	地主邸庇一部剥落+ベランダから下階に雨漏 → 大規模修繕検討			
	資産管理会社より設計図面入手 EV修理 埋設水道管漏水修理			
1980 (10)	第1回大規模修繕1千万 ※臨時徴収各戸25万、修繕積立金500 → 3000円			
	各戸ベランダ防水 165万 排風機修理雑排水管通気管改修 20万			
	各戸レンジフード防火ダンパ調整・清掃(2)EVロープ交換 55 万			
1981 (11)	EV 開放丰一新設 20 万 雑排水管一部改修 38 万			
	換気量調査 → 排風機修理 レンジフード防火ダンパ調整(3、管理人)			
1982 (12)	ベランダ防水再補修 排風機修理8万、分電盤修理6万 駐車場埋設水道管破裂修理			
1983 (13)	EV修理 84 万 第一次地代值上交涉			
1984 (14)	各戸玄関ドア塗装(管理人、実費) 排風機修理8万 防火ダンパ調整(4、管理人)			
1985 (15)	水銀灯電球交換 2万			
1986 (16)	高架水槽FRP補修 水銀灯等修理 10万 玄関扉修理 8万			
	排風機ベルト交換 2.5万一部ベランダ雨水管不良で浸水			

1987 (17) 屋上・外階段塗装補修 92万 希望者ベランダ塗装 = 個人負担 電気引込線切替

	送水管漏水修理+揚水ポンプ修理 57 万 非常灯一部交換 3 万 ブロック塀修理 5 万		
1988 (18)	EV修理 34 万 揚水管止水弁修理 15 万 埋設水道本管漏水修理 60 万		
	赤水対策リン酸塩自動投入装置試験 24 万 第二次地代値上交渉		
1989 (19)	修繕積立金 3000→6000 円 給水管全体調査、揚水ポンプ配管修理 35 万		
	屋上防水補修 32 万 排風機#4 交換 46 万 高架水槽修理・塗装 81 万		
1990 (20)	地代値上交渉妥結 団地サービスに管理委託開始		
	排風機修理 16万 塔屋防水補修? 揚水バルブ修理 9万 等		
1991 (21)	共有部給水管更新(団地サービス)1236万 ※コア入バルブ不使用		
	排風機ベアリング破損で近隣から苦情 → 行政指導 → #1,3 取替 65万		
	TVアンテナ取替 25万 EV改装 55万 非常灯一部交換 5万		
1992 (22)	資産管理会社アパート1棟建設 門扉等新設 64万 EVロープ交換 70万		
1993 (23)	排風機#4 修理 10 万 地主邸セントラルヒーティングボイラ撤去		
	地主邸ベランダー部防水補修		
1994 (24)	<b>地主死去</b> 第 2 回大規模修繕(長谷工)3300 万 ※臨時徴収 1380 万(30~50 万)		
1996 (26)	排風機修理 23 万 → 保守契約 14 万/年 防火扉修理 25 万		
1997 (27)	防犯カメラ導入 外壁一部補修(長谷工) EV#2 近代化改修 715万		
1998 (28)	ガス埋設管取替 203万		
1999 (29)	8階台所火災 火災報知機更新 241 万 ※インターホン撤去		
2000 (30)	P タイル張替 220 万 その他、内装復旧費 120 万 ← 火元より弁償 100 万		
	マンション保険加入(積立型)480万 外付鉄骨階段塗装 125万		
	排風機オーバーホール 59 万 直結増圧ポンプ新設工事 270 万		
	※共有竪管からエントランス天井に漏水【1回目】 雑排水管劣化調査(JS)19万		
2001 (31)	ゴミ収集場屋根新設 52 万 排風機修理 11 万→ 保守契約 北面外壁補修 18 万		
	※共有竪管からエントランス天井に漏水【2回目】		
2003 (33)	外付鉄骨階段・屋上・ベランダ塗装 315 万 共用部消火器更新		
	底地の内、個人名義の2筆(一部)を東京国税局が差押 → 以降、順次追加差押		
2005 (35)	1 戸相続時に不動産担保融資不可との評価で、滞納が判明		
	地主邸ベランダウレタン防水補修 70 万※完治せず		
2006 (36)	一部ベランダ漏水補修※完治せず TV受信障害クレーム申入¥0- 排風機修理 28 万		
2007 (37)	雜排水管更新更正(有信)2010万		

	エントランス・郵便受リフォーム、管理人室模様替え 215 万 TV共聴改修 115 万			
2008 (38)	電気幹線更新 430 万 → 共有部電力契約見直し 3 階ゴミ屋敷でボヤ			
2009 (39)	塔屋~9F 陸屋根防水、遮熱塗装 450 万			
2010 (40)	外付鉄骨階段全面補修 630 万			
	防犯カメラ契約見直し 2.3 → 1.8 万/月 直結増圧ポンプオーバーホール 14 万			
2011 (41)	EV1 号機近代化改修 80 万 EV内手摺新設 14 万 (2012 年問題)			
	全戸換気風量調査3.5万 排風機オーバーホール 照明増設等(三品実費)			
	2 階ベランダ雨水管修理 13 万 ← 1986 年以来			
2012 (42)	<b>1 戸相続時に資産価値下落判明</b> 筋悪の者が事務所に出入			
	VHFアンテナ撤去、高所照明更新等 10 万			
	JS 給水設備維持管理契約破棄、ALSOK機械警備導入 AED設置			
	排風機キャンバス交換 20万 耐震二次診断 330万			
2013 (43)	耐震三次診断 320 万			
	直結増圧ポンプインバータ交換 17 万 止水栓全戸交換 106 万			
	EV2 号機盤内ファン等交換 12 万 図面電子化 7 万			
2014(44)	EV1 号機ドアモータ交換 9 万 直結増圧ポンプオーバーホール 35 万			
	共用部消火器交換5万 避難誘導灯蓄光パネル化 火災報知器一部更新等(三品実費)			
	資産管理会社名義の底地一部差押(熱海税務署)→ 外部デベロッパーに一括売却			
	組合法人登記			
2015(45)	デベロッパーから管理組合法人が買戻			
	地主養子夫婦名義の底地を買受勧奨(任意売却)で各区分所有者が共有取得			
	未登記の管理室、事務室、屋内駐車場等を管理会社から管理組合法人に譲渡			
2016(46)	庭木定期植栽開始			
	EV2 号機そらせ車交換 40 万 埋設排水管切替 150 万 ※資産管理会社が負担			
2017(47)	万年塀一部撤去 15 万 散水栓埋設管補修 8 万			
2018(48)	リースバック事件 接道〜エントランス再舗装 40万 EV1,2 号機ドアスイッチ交換			
	共有部水道契約見直し、エントランス自動ドア化+顔認証オートロック導入 550 万			

## 概略公図



10-20	205 m <sup>2</sup>	地主の自邸があり、マンション建設時に資産管理会社名義に	<del>-</del>	(組)
10-21	330 m²	昭和20年代から地主が所有、養子夫婦が50%ずつ相続	<b>%</b> 1	(共)
10-22	320 m	昭和 20 年代から地主が所有、養子夫婦が 5 0 %ずつ相続	<b>% 1</b>	(共)
10-60	385 m	他人(地主の妾?)が所有、地主が庭として使用、竣工後に	資產管理	会社名義
10-61	93 m	木造の長屋があり、建て替え時に60から分筆		
10-97	61 m²	6 0 から分筆、避難通路として借地に追加	<b>※</b> 2	(組)

斜線部がマンション、※は差押られた底地(1:東京国税局、2:熱海税務署)

組合法人(組):10-20,-97 区分所有者共有(共):10-21,-22